

緑の風

JR東労組 NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union

2022年8月15日 No.27

8月15日 終戦の日

1945年8月15日の終戦から77年。ウクライナ侵攻、台湾情勢など、日本での戦争がより現実味を増す中、国内では軍拡や核共有、改憲をめざす動きが顕著になっています。

しかし、77年前の沖縄戦では、本土決戦への“捨て石”（時間稼ぎ）として沖縄の住民は徹底抗戦を強いられ、実に4人に1人が犠牲になりました。住民に徹底抗戦を強いる構図は、現代のウクライナも同じです。

戦後、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を掲げた日本国憲法が公布されて以来、日本は一度も戦争をしていません。その意味で、現行の日本国憲法はととても優れていると言えます。

戦争の大義名分は、いつも「国民を守るため」とされますが、その裏では軍需産業が莫大な利益を得ています。犠牲になるのは私たち労働者や子ども達です。国会での改憲勢力が3分の2を超え、改憲発議ができるようになってしまった今、真剣に日本の未来について考えましょう。

組合員と家族の生活を守るため、真剣に考えよう！